

目次

はしがき

第一章 漂う大陸……………一

昔、大西洋は存在しなかった ウェゲナーという人 地質学的時間 大陸移動の歴史 インドとアジア大陸の衝突 とりのこされた島じま ひからびたリング説 浮ぶ大陸 現代の地球内部観 動く大陸 失われた大陸—アトランティス みみずやかたつむりの交流 つながっていた諸大陸—陸橋説 みみずの橋はいらない 破れた新聞紙 新聞記事はつながるか 赤道直下の氷河 南極大陸の石炭 極も動いた

第二章 漂う大陸をめぐる論争……………四

あまのじゃくの正体 離極力 西進のあまのじゃく すべる大陸 月をつかまえた地球 二つの原始大陸 エンジン付き大陸船 賛否相半ばした学界 反対論展望(1) 反対論展望(2) 反論に対する反論 堅い流体、柔らかい固体

歴史はくり返す 地球を暖める放射能 ジョリーの考え——歴史はくり返す
地球内部(マントル)の対流説 ベルト・コンベヤーにのった大陸 移動説すたれる

第三章 地磁気のなぞ……………廿

地球磁石 磁針は厳密には北をささない 地球磁場は生きている 西へ流れる
地磁気 地球はなぜ磁石なのか—なぞ 永久磁石説 磁石になるもの、ならぬ
もの 強磁性体は全体主義国家 いろいろの地磁気原因論 否定的実験
地球発電機 不思議な発電機—手がかり 円板ダイナモ 核内のダイナモ
地磁気原因論—まとめ

第四章 地磁気の化石……………二五

炉跡の秘密 磁気化石 火山岩は理想的な永久磁石 独裁者が腕をふるう時
岩石磁気をにかうもの ひねくれものの集団 北が南で、南が北だった？
予言者のいったこと 本当に自分で逆を向いた!! やはり地球磁場は逆転したら
しい 何が地磁気をひっくり返したのか

第五章 大陸移動説の復活……………三〇

イギリス人たちは奮起した 全地質時代をさかのぼる チリも積れば けしか
らぬ水成岩 グラハムのテスト 化学残留磁気 英国は回転した ユニオン
ジャックに日没なしノ インドの北進 ニューカスル・グループの反撃 極移
動の軌跡 やはり、大西洋は存在しなかった 大陸移動説復活劇の舞台裏 デ
ータの集積は困難を招くことがある 折れた日本 反省期 ブラケット一派
の再反撃

第六章 地球は暖まっているのか、冷えているのか……………三三

地球は熱機関である 地底からの熱 海底からの熱 マントル内・熱対流の考
え 地球の体温—地殻とマントルの温度 地球の体温—核の温度 地球の体温
—まとめ 地球の起源 火の玉地球 地球はチリ・アクタのかたまり 隕石
地球 地球の年齢 ふるいで砂をわけると 暖まる地球 核の生成
地球は冷えも暖まりもしていない 再びマントル対流説

第七章 海底は語る……………三五

海底の科学 地殻は確かに動いた 地球の割れ目 今まさに引き裂かれている
大陸 大西洋が割れめなのだ ベルト・コンベヤーのスピード 船は出て行く
煙は残る 日本列島の下はどうなっている 地球科学の革命期